

# 日本

# 茶

# の未来に向けて 「茶の都しずおか」から発信！



明治時代、  
日本茶は生糸に並ぶ輸出品、  
「世界のお茶」だった時代に学ぶ。

明治時代、茶関係者は、世界を視野に入れ、世界の茶としての日本茶について考えました。岡倉天心は、茶という飲み物を通して、東洋文明の広大な可能性を垣間みることができると説きました。

茶とは、ヒトにとって、人類にとって、何であるのかを見直してみましょう。

第1部では、日本を代表する知識人である芳賀徹静岡県立美術館館長から、岡倉天心の「茶の本」を読み解いていただき、当時、日本が発信しようとした日本人の感性と思いを学びます。

第2部では、全米茶業協会前会長のジョセフ・シムレイニー氏も加わり、世界がみる日本茶の姿、アメリカにおける日本茶の可能性について対談いただき、これからの世界戦略について考えます。

## 11月9日

日時: 2014年 11月9日 (日曜日) 13時00分～16時

会場: 藤枝市生涯学習センター 多目的ホール

静岡県藤枝市茶町1-5-5 (054-646-3211)

参加料: 無料 定員: 300名

### プログラム

開会 13時 挨拶、趣旨説明  
第1部 (講演) 13時10分～14時30分

#### 文化としての日本茶～岡倉天心を読み直す～

芳賀 徹 (はが とおる) 静岡県立美術館館長、国際日本文化研究センター、  
東京大学名誉教授、京都造形芸術大学名誉学長

休憩 14時30分～14時45分

第2部 (対談) 14時45分～16時

**第2部は講師都合により、中止します。**

主催: 静岡産業大学 (情報学部O-CHA学研究センター)、  
静岡県立大学 (食品栄養環境科学研究院 茶学総合研究センター)、  
公益財団法人世界緑茶協会、茶の湯文化学会、お茶と水研究会

共後援: 静岡産業大学 (総合研究所)

後援: 静岡県、藤枝市

申込期日: 平成26年10月30日 (木)

(参加申込先) 静岡産業大学情報学部O-CHA学研究センター

裏面に申込書がありますのでご利用ください

## 岡倉天心



1906年(明治39年)の5月、岡倉天心は「The Book of Tea—茶の本」をニューヨークの出版社から出版した。

岡倉天心は「茶の本」の第一章「[The Cup of Humanity茶碗にあふれる人間性(大久保喬樹訳)]」の中で「茶の哲学は、世間一般で思われている単なる唯美主義—ひたすら美だけを追求する流派にとどまるものではない。それは人間や自然に対するもろもろの見方をあらわしている点で倫理や宗教と結びついている、清潔さを強調する点では衛生学である。複雑で金のかかるものよりは単純質素なものに安らぎを見出すということから言えば経済学である。さらにそれは宇宙とのバランス感覚を養うという意味で精神の幾何学であり…」と述べている。

## 芳賀 徹



**略歴**  
 昭和35年(1960年) 東京大学大学院比較文学比較文化専攻博士課程修了  
 昭和50年(1975年) 東京大学教養学部教授  
 平成4年(1992年) 国際日本文化研究センター教授  
 平成11年(1999年) 京都造形芸術大学教授、学長  
 平成22年(2010年) 静岡県立美術館館長(非常勤) 現在に至る  
**専門** 近代日本比較文化史、比較文学  
**著書** 『藝術の国日本 画文交響』(2010) ほか。

## Joseph P. Simrany (全米茶業協会前会長)



**経歴**  
 ・ 25年間のナビフィニッシュ、サンシャインブレンド、フィンギング部門副社長として、1991年全米茶業協会に就任。  
 ・ 1999年スペインティーティー講座を開設し、スペシャルティーティーの認証・啓蒙活動を行う。  
 ・ 2010年イギリス人以外では初のロンドン茶貿易会議議長に選ばれ、基調講演を行う。  
 ・ 2012年シアトルで農業サミット会議を開催。  
 ・ ロンドン国際茶委員会会長、中国茶名誉大使

**第2部は講師都合により、中止します。**

# シンポジウム参加申込書 日本茶の未来に向けて～“茶の都しずおか”から発信～

フリガナ				<b>性別</b>	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性
氏名					
住所	〒				
電話番号	( )	—			
FAX	( )	—			
ご職業	<input type="checkbox"/> 会社員・団体職員 ( <input type="checkbox"/> 茶業関係 ) <input type="checkbox"/> 自営業 ( <input type="checkbox"/> 茶業関係 ) <input type="checkbox"/> 教員 <input type="checkbox"/> 公務員 (教員以外) <input type="checkbox"/> 主婦 <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
このシンポジウムを何で知りましたか?	<input type="checkbox"/> 大学からの案内・HP <input type="checkbox"/> ポスター・チラシ <input type="checkbox"/> 新聞 <input type="checkbox"/> 広報誌 <input type="checkbox"/> 知人紹介 <input type="checkbox"/> その他 ( )				

※太枠内は必ずご記入ください。

## 申込方法 申込先

表題を「シンポジウム『日本茶の未来に向けて』参加申込」とし、  
 ①郵便番号 ②住所 ③氏名(フリガナ明記) ④電話番号 ⑤職業を記載の上、  
 郵送・FAX又はE-mailで下記までお申込みください。

**FAX** 静岡産業大学 情報学部 O-CHA学研究センター  
**054-645-0195** (番号のお間違えが無いようご注意ください。)

**郵送** 〒426-8668 藤枝市駿河台4-1-1  
 静岡産業大学 情報学部 O-CHA学研究センター ※参加申込書はコピーでもかまいません。

**E-mail** 表題「シンポジウム『日本茶の未来に向けて』参加申込」  
**o-chagaku@ssu.ac.jp**

**申込期日** 平成26年 10月30日(木)

### 個人情報 保護について

シンポジウムにご応募の際にお伺いする個人情報は、静岡産業大学情報学部で実施する事業(参加者名簿の作成、公開講座等の開催に関する連絡及び情報提供)で利用します。また、受講申込者の同意がある場合及び行政機関等から法令等に基づく要請があった場合を除き、当該個人情報の第三者への提供又は開示をいたしません。ご提供いただきました個人情報を正確に処理するよう努めます。